

マイナ490万枚減 集計是正し公表

保有数 先月末で 8816万枚

総務省は十四日、マイナンバーカードの普及状況を示す集計値を是正した。従来の「交付枚数」は死亡や返納などによる廃止分が含まれ過大となっており、廃止分を差し引いた「保有枚

数」を新たに公表。六月末時点は約八千八百十六万枚で、交付枚数ベースに比べ約四百九十万枚少なくなつた。市区町村別データにも影響し、カードが普及して

マイナンバーカードが普及している上位5自治体の変化

2013年4月時点	交付率
新潟県粟島浦村	100%
大分県姫島村	99.3
宮崎県都城市	95.0
兵庫県養父市	94.3
鹿児島県十島村	93.0

6月末時点	保有率
鹿児島県十島村	89.6%
兵庫県養父市	89.0
高知県四万十町	87.2
大分県姫島村	87.1
宮崎県都城市	87.0

松本剛明総務相は記者会見で「日々把握できるのが交付枚数であり、マイナカードの普及状況を示す指標として示してきた」と述べた上で、今後は毎月末時点の交付枚数と保有枚数の両方を公表すると明らかにした。

集計値は総務省ホームページに掲載している。六月末時点の交付枚数は九千三百六万四千二十三枚、人口に対する交付率は73・9

での累計廃止枚数約四百九十万枚を引いた保有枚数は八千八百五十五万五千九百七十三枚。保有率は70・0%で約4.5%の開きがある。

廃止は死亡や自主返納のほか、国外転出や有効期限切れ、引っ越し後の手続き漏れによる失効などで発生する。

総務省は廃止枚数の把握には時間がかかるとして、これまで交付枚数だけを公表していた。廃止した理由別の枚数は非公表とした。

六月末時点の市区町村別で、廃止分を除いた保有率が最も高かったのは鹿児島県十島村の89・6%。兵庫

県養父市89・0%、高知県姫島村87・1%、宮崎県都城市87・0%となり、90%以上はなかった。

公的証明書交付システム改修へ

富士通、ミス防止

富士通は十四日、マイナンバーカードを使った公的

証明書の交付サービスを巡り、今月中旬から福岡県宗像市など四十四自治体で、誤交付を防ぐために、チエ

ック機能を強化するなどの

システム改修を実施すると

富士通は四十四自治体で、スムーズに改修が実施されていなかった。

また、富士通は四十四自治体以外に、必要なシステム改修が施されていない事例があることも公表した。

対象の自治体数や詳細は明

京)が百二十三自治体にシステムを提供しており、三割超でシステム改修が受け取れる。富士通の子会社「富士通Japan」(東

京)が百二十三自治体にシ

ステム改修を実施すると

富士通は四十四自治体で、誤交付を防ぐために、チエ

ック機能を強化するなどの

システム改修を実施すると

富士通は四十四自治体で、誤交付を防ぐために、チエ

ック機能を強化するなどの

システム改修を実施すると

健康保険証の廃止時期 遅くとも来年12月8日

記者会見で、来年秋を予定する健康保険証の廃止時期について、法律の規定に基づき「最も遅い場合は来年十一月八日になる」と明らかにした。政府は今後、具体的な廃止日を政令で決定する方針。

加藤勝彌厚生労働相は十四日、宮崎県がマイナンバーと療育手帳情報をひも付けを三千件以上課めたことを巡っては、同様のミスが他の自治体や分野で起きている可能性について「否定できない」と述べた。今後は「手作業のミスも前提とした上で、どうやって防

止する」と定めている。廃止後も一年間は猶予期間として継続使用できる。

力月を超えないうちに保険証を廃

らかにしていいが、証明書の誤交付など個人情報の漏えいにつながる恐れはない」と説明している。これらの自治体でも改修を進めることを強くおわびします」としている。

富士通は「自治体や住民の皆さんに多大なる迷惑をかけられる。富士通の子会社